

# 「方南」って、どんなまち？①

～まちの名前などについて～



わたしたちの地域には、いつから人が住んでいたのでしょうか？

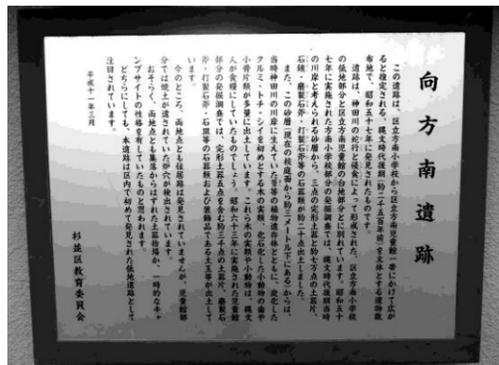
さて、方南小学校から区立方南児童館一帯にかけて広がる「向方南遺跡」はご存知ですよね？

そんな昔々から人が住んでいた方南一丁目地区ですが、「方南」の地名の由来ははっきりしません。

江戸時代は「和田村」と呼ばれた地域で、字として「方南」「向方南」という表記が見られます。

明治時代には「和田堀内村」、大正時代に「和田堀町」と呼ばれ、1932（昭和7）年に杉並区ができた時に「方南町」になり、1966

（昭和41）年に住居表示が実施されて今の方南1丁目になりました。



方南児童館の壁に向方南遺跡の解説が掲げられています

## ここでクイズです！

町名が「方南1丁目」になった1966（昭和41）年におこった出来事は、次のうちのどれかな？

- ①ビートルズ来日
- ②公害対策基本法が公布
- ③川端康成氏がノーベル文学賞を受賞

答えは2ページ下へ！

※参考：「文化財シリーズ19 杉並の地名」（杉並区教育委員会編、1978）、「杉並・まちの形成史」（寺下浩二著、1992）

## 問合せ先

杉並区 都市整備部 建築課 不燃化推進係  
住所：〒166-8570 杉並区阿佐谷南1丁目15番1号  
TEL：03-3312-2111（代表） ファックス：03-5307-0690



# 防災まちづくり通信



発行日：平成29年2月 発行：杉並区都市整備部建築課不燃化推進係 編集協力：(株)首都圏総合計画研究所

今回の通信では、創刊号で皆様にご協力頂いたアンケート調査の結果についてお知らせします。

区では、建物の不燃化や行き止まり道路の対策など木造住宅密集地域の課題解消に向け、皆様のご意見をお伺いしながら取り組んでまいります。今後も、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

## アンケートのご協力ありがとうございました！

アンケート調査票【回答欄】		回答番号
問	項目	
問1	①住みやすい	
	②防災について課題がある	
	③災害に強いまちづくりが必要	
問2	①火災の延焼しやすさ	
	②地震での建物の倒壊	
	③狭い道路や行き止り	
	④公園・広場の数	
	⑤小さな敷地の増加	
	⑥建物どうしの間隔	
問	お住まい又は土地・建物の権利をお持ちの位置	

アンケートでは、区が行った基礎調査結果をもとに、みなさんが日頃お感じになっている、まちの印象や課題について、お尋ねしました。（詳細は通信 創刊号をご覧ください。）

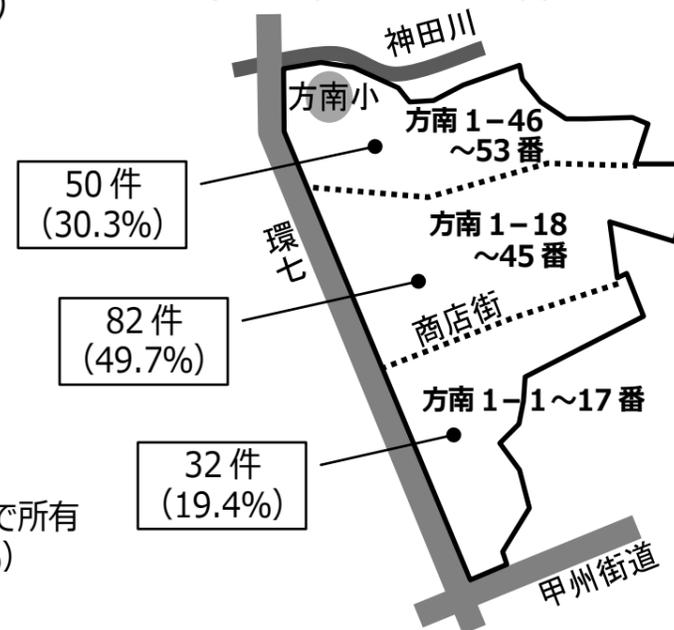
### ●アンケートの方法

当地区内にお住まいの方を対象に、切り取り式の葉書アンケートを記載した通信 創刊号を各戸に配布。

●配布日：平成28年12月21日(水)～28日(水)

配布数：4650部  
回収数：165件  
回収率：3.5%

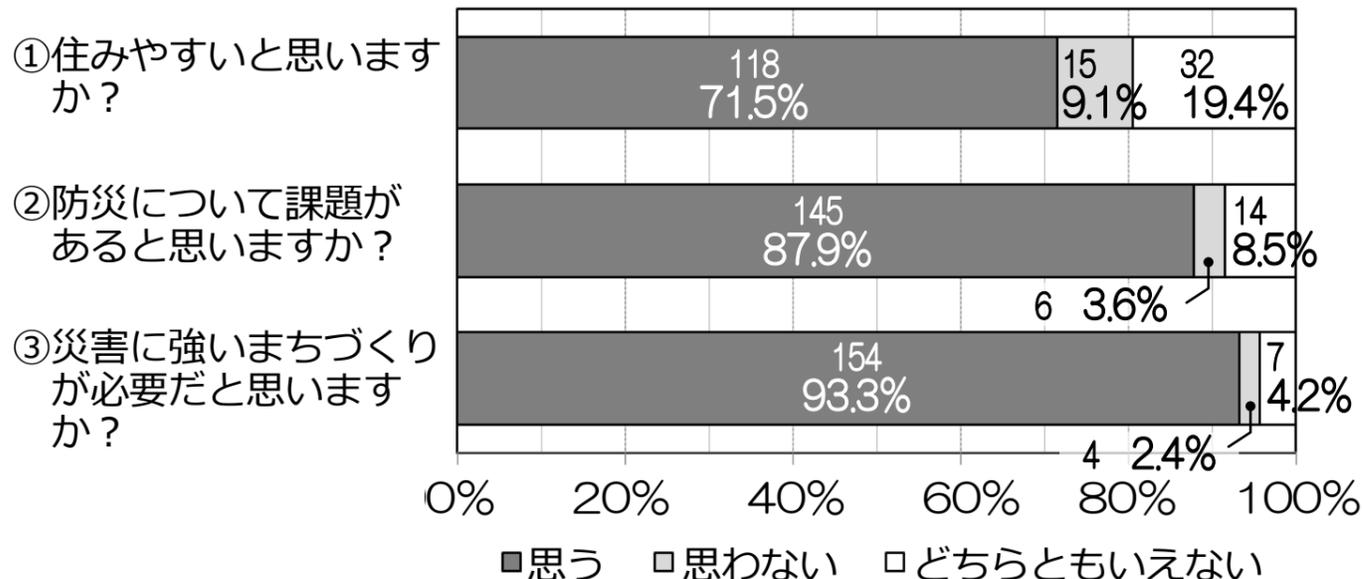
●お住まい又は土地・建物の権利をお持ちの区域ごとの回答者数



※複数の区域で所有1件 (0.6%)

# アンケートの結果

## 問1 現在のまちについて、どのようにお感じですか？



- ・ 3項目とも、「思う」が7～9割と多くなっています。
- ・ 住みやすいまちですが、防災面では課題があり、災害に強いまちづくりが必要だと考えられています。

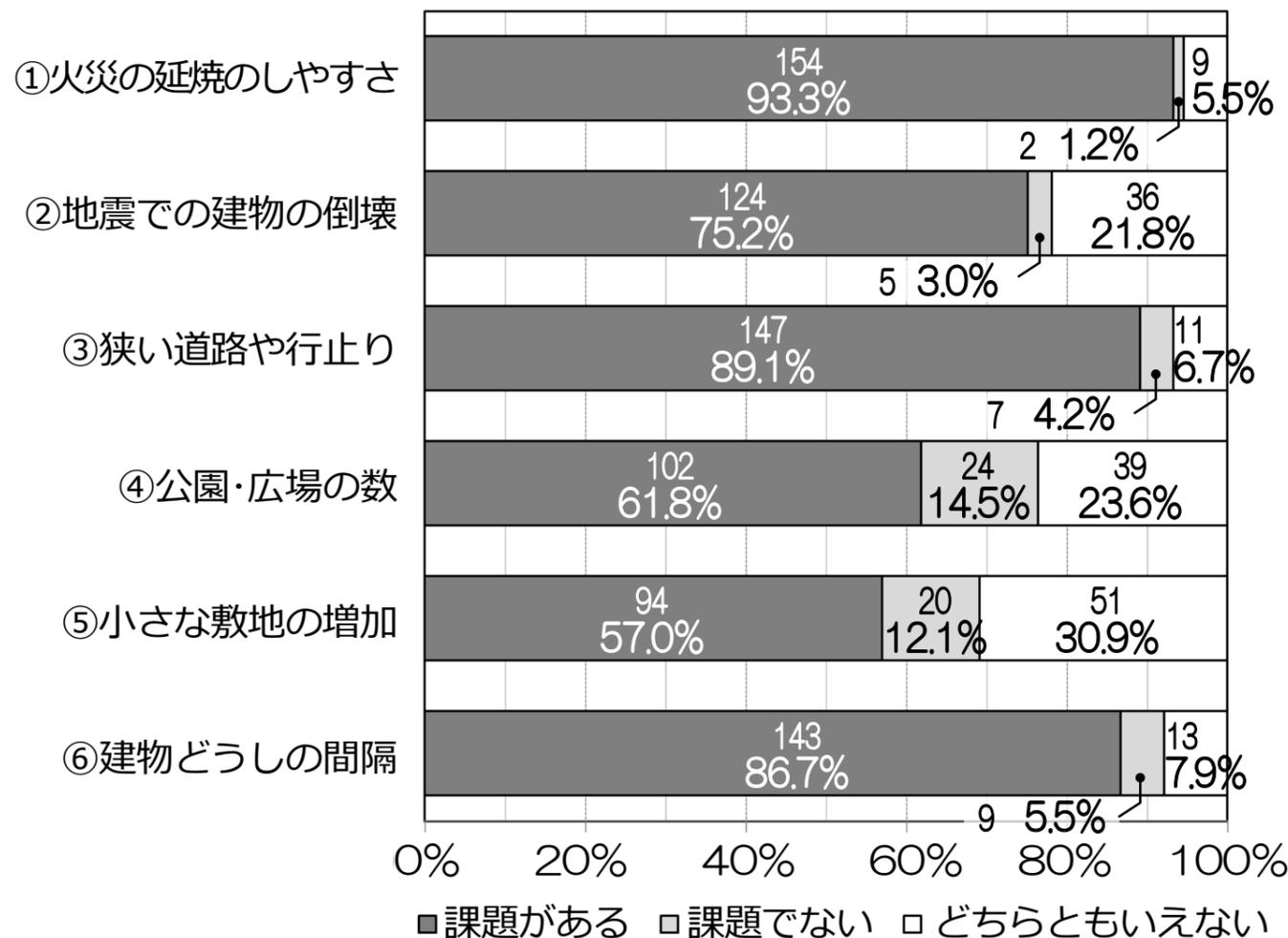
### 設問に対する回答の理由やその他のご意見

自由にお書き頂いたご意見には、以下のようなテーマのものがありませんでした。

- 防災まちづくりの進め方について
  - 公園が少ない
  - 道路の幅4mへの後退や隅切りが不十分
  - 建て詰まり等で火災が心配
  - 日々、注意することが大切
  - 防犯上の不安がある
  - 空家や敷地内の管理が課題である
  - 老朽化して倒壊の心配な箇所がある
  - 救急車両の通行や安全な避難ができる道が不十分
  - 建替えを進めようにも問題がある
  - 生活上でのマナーが守られていない
- など

4ページのクイズの答え 正解は①  
 その他、日本の人口が1億人を突破し、国立劇場の開場や静岡県と山梨県に大きな被害をもたらした台風の同時上陸等の出来事がありました。②は1967(昭和42)年、③は1968(昭和43)年。

## 問2 まちの防災や住まいの環境について、どのようにお感じですか？



- ・ 「①火災の延焼のしやすさ」「③狭い道路や行止り」は、「課題がある」が9割以上となっています。なお、区域によって差はほとんどありませんでした。
- ・ 「②地震での建物の倒壊」は「課題がある」が約75%となっています。地区南側がやや多く、北側がやや少なくなっています。
- ・ 「④公園・広場の数」「⑤小さな敷地の増加」は「課題がある」が6割程度となっています。ともに地区中央で「課題がある」が多く、地区南側で少なくなっています。
- ・ 「⑥建物どうしの間隔」は「課題がある」が約87%と多くなっていますが、地区南側が少なく、北側が多くなっています。

## 問3 お住まい又は土地・建物の権利をお持ちの位置はどちらですか？

